2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [岡崎市立秦梨小学校] 担当教諭名[神尾 美孝] (6年1組 8名)
相手国・地域[フランス]
海外学校名 [Groupe Scolaire Carlepont] 担当教諭名[Jean-Marie Lelong]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教　科	単　元　名	時間数
アートマイルに関連した実施教科・時間数	総合的な学習の時間	英語で、地域の紹介や自己紹介をしよう。	4
	総合的な学習の時間	地域の文化をもとに、壁画の構想を考えよう。	6
	図画工作	日本と地域の文化を、壁画に表そう。	13

■作品に込めた想いについて教えてください。

題（テーマ）	地域文化や環境など、お互いの特長やよさを伝え合おう。
メッセージ（相手と想いを合わせて世界に発信したいメッセージ）	日本とフランスの文化、お互いの学校、地域の文化の特長やよさを、伝え合いながら共有して、一つの壁画に表したい。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成　　果	課　　題
・外国の友達との交流により、相互理解が深まった。 ・壁画の構想づくりにより、地域文化の再確認ができた。 ・壁画作成を通して、学級内のコミュニケーションの活発化、達成感の共有ができた。	・活動時間の確保が難しかった。 ・時差により、教師間の連絡、リアルタイムでの交流が難しかった。(時差　夏季7時間　通常8時間) ・壁画を郵送するときの、手続きの確認が必要だった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
・テレビによるリアルタイムでの交流により、英語での会話、海外の人との交流を身近に感じることができた。 ・壁画の完成や交流活動により、日本の文化と、海外の国の文化を、比較したり、共有したりすることができた。	・通信ソフト(ZOOM)により、予想以上に、簡単に、また鮮明に海外との交流ができることを知った。 ・小学生でも、準備、練習をすれば、英語での交流ができることを再確認し、英語教育の重要性を改めて感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活　動　内　容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	・フランスの児童たちと、自己紹介をし合って交流する。	・どんな相手か楽しみ。 ・英語をしっかり練習したから、落ち着いて話そう。 ・もっと交流したい。	総合4
共有 テーマ学習	10月	・壁画のテーマについて話し合う。 ・相手に伝えたい地域の文化、よさを見つめ直し、リストアップする。	・相手の地域はどんなところだろう。 ・共通点は、どんなところだろう。 ・日本文化、秦梨の文化、どちらもたくさんあることがよく分かった。	総合4
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	10月 11月	・「地域文化と環境」をテーマにして、秦梨学区のよさを表現する。 ・相手の構図も意識しながら、自分たちの構図を考える。	・全体の構図の中に、地域のよさを表した絵を、いくつか描き込もう。 ・背景は、学校のすぐ横にある、川と山を中心に描こう。	総合1 図工3
創造 壁画制作	11月 12月	・下書きを描き、色を塗って完成。 ・全体の構図の中に、一人1場面ずつ分担を決めて描く。	・伝えたい絵を、一人1場面ずつ分担して描き込むから、責任重大だな。 ・友達が困っていたら、手伝おう。	図工10
評価 振り返り 自己評価	12月 ～ 3月	・相手の学校との交流、壁画の作成を振り返る。 ・全校の前で、壁画を発表する。 ・送られてきた壁画を見て、鑑賞する。	・どの活動も、一生懸命取り組んでよかった。やりがいがあった。 ・全校のみんなが、大きな拍手をくれた。 ・メールで送られてきた完成の写真を見て、感動した。	総合1

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた　4:ついた　3:どちらともいえない　2:あまりつかなかった　1:つかなかった）

学習目標・つけたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	5	地域文化をリストアップする場面で、学区のよさを再確認できた。
異文化を理解する力	3	お互いの顔、表情を見ながら交流できた。 時差等の関係で、リアルタイムでの交流は一度しかできなかった。 調べ学習をする時間が、あまりとれなかった。
情報活用能力 （収集・まとめ・発信）	4	限られた時間の中で、できる限りの活動をした。
コミュニケーション力 （双方向・共感・英語）	5	一度だけだったが、リアルタイムでの交流ができた。 英会話に親しんだとともに、たいへん貴重な経験、思い出になった。
批判的に思考する力 （客観的・論理的視点）	3	限られた時間の中で、あまりできなかった。
主体的に考え行動する力	4	一人1場面を担当することで、主体的にデザインを考えたり、絵を描いたりすることができた。
他者と協働する力 （学級内・海外の相手）	5	絵のデザインを考える場面、実際に絵を描く場面で、互いにアドバイスし合ったり、手伝ったりする場面が多く見られた。
想いを言葉や形にする力 （メッセージ作成・壁画制作）	4	リアルタイムでの交流で自己紹介や地域の紹介をしたり、壁画の構想を考えたりする場面で、発信する力を伸ばすことができた。
評価する力 （作品の鑑賞・学習の自己評価）	4	貴重な経験ができて、有意義な活動になった。